

自治協ニュース

第3005号
発行者
八本松住民
自治協議会
H30. 10. 20

東広島市の玄関

安全で渋滞を起こさないアクセス道路が必須

(仮称)道の駅西条 説明会 東広島市 予定地の近隣にお住まいの方の意見聴取



参加者の意見・要望に答える東広島市政策企画部の木内政策推進課長(正面左から3人目)

9月29日東広島市は国土交通省中国地方整備局広島国道事務所と地域センターで(仮称)「道の駅西条」について整備予定地の近隣にお住まいの方を対象(参加者約50名)とした説明会を行った。

この道の駅は、西条バイパスと前谷磯松線が立体交差する地点の北東側に広さ2.9haで大型車81台、小型車136台、自動二輪車24台の駐車場と休憩施設、情報提供施設、地域連携施設等を平成32年度に完成を目指すもの。また、2年前に八本松小学校区全体の住民の方を対象に、目的や必要性等基本計画について説明会が行われ、地域住民から「万全な安全対策」が求められていた。

今回はその後、産業界や大学、近隣自治協及び公募による市民の方を対象に開かれた懇談会とワークショップの意見やアイデアを反映した整備・運営計画と今後のスケジュールについて説明がなされた。特に地域連携施設等は高齢者、障害者等の移動や周辺環境に配慮する等の市民の意見が反映されていた。

説明後の参加者の意見聴取では、アクセス道路の改良工事に質問が集中。特に、アクセス道路の2車線化と複数の交差点に信号機を設置することで今後倍増する交通量に対処できるのか。渋滞により近隣団地の皆さんの日常生活へ影響は出ないか。また、渋滞により施設利用者が伸び悩み、駅の機能が十分発揮できないのではと心配する意見が続出。更に、「この施設が迷惑施設にならないよう、地域の皆さんから本当に道の駅ができて良かった」と言っていただけ

策推進課長は、「交通対策の重要性を再認識した。今後、どのような手法が一番効果的で安全を守れるか研究する。この施設が必ず地域の活性化につながるよう本日の意見を受け止め前向きに進めたい」と回答し説明会を終了した。

全体施工ステップ

【アクセス道路 改良工事】

至広島

西条バイパス

上りOFFランプの施工【2車線化】

【上りONランプ断面】

【上りOFFランプ断面】

【2車線化】

【下りOFFランプ断面】

【2車線化】

下りOFFランプの施工【2車線化】

(都)前谷磯松線の施工(東広島市)

上りONランプの施工

至三原

※計画は現時点のものであり、今後の詳細検討によっては変更が生じる可能性があります。

説明会資料

地域トピックス

ダイキョーニシカワ株式会社 新本社・本社工場 建設

寺家産業団地に従業員約1,000名の開発・生産拠点



地域から信頼される 企業を目指して

この4月ダイキョーニシカワ株式会社(本社・安芸郡坂町 樹脂部品の総合メーカー)は、東広島市寺家産業団地に「本社」「開発」「生産」の機能を統合した新本社・本社工場の建設に着手した。

現在、本社棟と工場棟(敷地面積6.3ha)の建設が進められており、竣工は工

場棟が来年春ごろ本社棟は来年度中とされている。完成すれば、約1,000名の従業員をかかえる開発・生産拠点となる。事業も大学や各種研究施設関連企業との連携が容易で交通アクセスも良い立地条件を活かし、事業の効率化と高度化により「ものづくりのあるべき

姿」の実現に向け取り組まれることが期待されている。

また、地域との連携においても以前より「地域から信頼される企業」を目指されており、今後も地域の発展に貢献できるように、工場見学などを通じ地域の皆さんのご理解を得ながら地域における当社の役割を模索する等地域に開かれた取組みも期待されている。なお、施設が完成するまでの間、安全確保のため敷地外周道路にゲートが設けられ、敷地内への進入路が閉鎖がされるので協力が求められる。

第8回 災害時安否確認訓練

八本松自治防災会

外国人住民の方にも積極的な働きかけ

八本松みなみ地区自主防災会は、10月7日7時50分地区の集会所(24か所)で恒例となっている災害時安否確認訓練を行った。



班長さん(左端)の安否確認に答えるベトナム青年

区の集会所に集まり、各班の班長の「一緒に暮らしている家族の人数」、「非常時連絡先の変更の有無」等の確認に回答し、最後に全員で「突然大地震が発生した時」の初動11項目を唱和している。また、この訓練は全戸が対象で、外国人の方にも積極的な働きかけを求めている。八本松南2丁目の3ブロック4班では、アパートに住むベトナム青年にも平素からご近所の皆さんが声掛けを行っており、この日も4名が訓練に参加し、班長さんの質問に日本語で応じていた。

今後、地域の企業とも良い関係を築き、このような事例が増えることを期待する。

この安否確認は、年2回行われる環境美化作業日に合わせて行われるもので、参加率は毎回80%以上(今回は参加率81%、確認率85%)と極めて高い。住民の皆さんは班ごとに定められた地

世帯に一枚 唱和
いざという時 どうするか
突然 大地震が発生した時
大地震発生直後は消防車も救急車もあてになりません。あなたの命、家屋財産を守るため、そして近隣から犠牲者を出さないため、本当に頼りになるのは、近隣・班の私たちです。
地震発生
・ 丈夫な机・テーブルなどの下に身をかくし、座布団等で頭部を保護しよう
・ 玄関などの扉を開けて非常脱出口を確認しよう
・ 火を使っていたら、コンロ・ストーブ等の火を消そう
・ 火がでていたら、大声で知らせ、消火器や風呂水で初期消火をしよう
・ 家族の安全を確認しよう
・ 靴を履き、周囲の状況を確かめてから、外に出る様にしましょう
班の集会所へ集合
・ 隣近所で助け合いしましょう～みんな無事か声をかけあいましょう
・ 班長または前班長は安否確認台帳で家族の状況を確認しましょう
・ 近所で行方不明者はいないか確認しましょう
・ 軽いケガなどの処置はお互いに協力し応急救護をしましょう
・ リーダー不在の時もあり、集合した方で状況を確認し、救出・救助・消火活動しましょう。但し身の危険に及ぶような行動はしないようにしましょう